

当面の日程

2月	1日	県本部	共済集合同議集(岐阜市)
	5日	県本部	中央執行委員会共済推進委員会(岐阜市)
	6~7日	県本部	労働安全衛生集(東京)
	8日	県本部	青年部・女性部合同春闘討論集(大垣市)、レディースフォーラム(大垣市)、青年部冬のつどい(大垣市)
	8~9日	県本部	現評組織集(大垣市)
	12日	県本部	関連労協春闘総決起集(岐阜市)
	17日	県本部	書記長会議(ウエブ)
	22日	県本部	第23回中央委員会(各務原市)
	22~23日	県本部	地域医療セミナー(東京・ウエブ)
		本	くらしと子どもの福祉を考える全国集(東京)

自治労ぎふ

岐阜市今小町15(TEL058-265-3135)
自治労岐阜県本部教育宣伝部発行
責任者・子安英俊 編集者・中山順二

2月号

2025

第1066号



▲臨時大会の様子

岐阜競輪労組が自治労加盟

2024年12月16日、岐阜一般労働組合岐阜競輪場支部(組合員107人)は、臨時大会を開催した。県本部とは別に自治労に加盟する上部団体(岐阜一般労働組合)が、自治労を脱退したため、「岐阜一般労働組合からの脱退」と「岐阜競輪労働組合への名称変更」及び「自治労加盟」を一票投票により決定した。

執行部は、全国の競輪場をはじめ多くの公営競技の組合が加盟し、労働条件や賃金交渉の状況などの情報が得られる自治労に加盟すべきとの思いから、組織内で協議し、臨時大会で決定した。県本部は1月17日の中央執行委員会、自治労本部は1月24日の中央執行委員会それぞれ加盟を承認した。

2025
春闘あなたの
「声」で
はじまる

「声」を集めて力に変えよう!

春闘

昨年の春闘は、33年ぶりの5%を超える賃上げが実現し、その結果を受けた人事院勧告も大幅な引き上げ勧告となった。2025春闘は、引き続き物価上昇を上回る持続的な賃上げの流れを確実なものとする重要な取り組みとなる。県本部は1月17日に春闘討論集を開催し、今春闘の取り組みをスタートさせた。地域公共サービス労働者の賃金改善と同時に、質の高い公共サービスの実現をめざした政策・制度の実現と、地域労働者全体の生活環境の底上げをめざし、積極的に春闘に取り組もう。

労働組合が要求する事項は、給与改定、制度改正などに伴う賃金・労働条件の改善、人員確保に限らない。例えば、文房具の確保や電球の取り換えなど、どんなに小さな課題であっても職場改善につながることは当局に要求していくことが重要だ。

また、人事院勧告にも影響を与える民間組合の春闘の取り組みが重要であることから、自治労全体として、連合春闘(民間春闘)に積極的に関与し、連携して取り組まなければならない。

2025春闘は、「あなたの声ではじまる春闘」をキーワードに、1年の取り組みのスタートである春闘から、「要求―交渉―妥結―書面化(協約化)」のサイクルを確立し、課題の前進をはかろう。

2025春闘のポイント

1. すべての単組が「人員確保」について要求・交渉

自治労2025春闘の重点課題は、すべての単組の共通課題である「人員確保」とし、職場の人員配置の実態を踏まえ、すべての単組が春闘期から要求しよう。その後、4月以降の職場の人員配置の状況を再点検し、6月期の人員確保闘争につなげていく。

【主な課題】

- ①人員配置・採用計画(具体的な採用職種・採用人数)等を明らかにすること
- ②専門職をはじめ人員確保のための実効ある対策の具体化
- ③緊急時および災害時に必要な人員の確保
- ④恒常的休職者の正規職員での補充

2025春闘のスケジュール

- 2月中 要求書提出ゾーン
3月7日(金) 連合岐阜春季生活闘争総決起集会
3月10日(月)~14日(金) 統一交渉ゾーン
3月14日(金) 全国統一行動日

組合員の「声」を「要求」に

1 組合員の「声」を集めよう!

- ・組合員にアンケート等を配布し、意見を集約しよう(支部の職場委員をはじめ、青年部や女性部、評議会等と連携をはかり意見を集約してみよう)
- ・または、職場集会等を開催し、職場ごとに意見を集約しよう※この際に、会計年度任用職員からの意見もあわせて集約しよう

2 最も重視する「要求」項目は何?

- 組合員からあげられた「声」を基に、何を「要求書」に盛り込むか執行委員会で議論しよう
賃金改善? 労働時間短縮? 人員確保?
職場環境改善や労働安全衛生活動?

3 要求書を「提出・交渉」をしよう

- 執行部・職場委員を中心に、要求書を作成・提出し、当局と交渉を実施しよう。
交渉では、職場の仲間の「声」を当局に訴えよう

4 要求内容、交渉、妥結状況を組合員と共有しよう

- 集会や、機関紙等を通じて組合員に報告し、情報を共有しよう

5 妥結結果は、「書面協定」を結ぼう

- 妥結結果については、書面協定(労働協約)として締結し、労使で確認しよう

全員の投票で
ストライキ批准の成功を

ストライキ批准投票は、年間を通じて一波につき2時間を上限とするストライキを含む闘争指令権を中央闘争委員会に委譲することについて、組合員の承認を求めるものだ。ストライキを行うための投票でなく、投票率そして批准(賛同)率が高いほど要求実現を望む組合員の強い「意志」を示すことになり、交渉にむけての大きな力となる。働き方や職場環境をより良いものとするために、批准投票へ積極的に参加しよう。

【ストライキ批准投票期間】

1月31日(金)~2月7日(金)

※具体的な投票日程方法は各組合からの指示に従ってください。



性(6・4%)、かわらな半数以上を占めた。



▲学習会の様子

県立3病院の労働組合で構成する県病院労組は、自分たちの給与制度を知り、要求につなげるため、給与



県病院労組多治見支部が 給与制度学習会を開催

制度学習会を開催している。多治見病院支部では、2024年12月6日、2025年1月7日に、県本部の大村中央執行委員を講師に、「給料表の見方について、昇給・昇格とは」と題した学習会を開催した。県立多治見病院の給与制度の説明のほか、同じ給料表を使っている県庁職員との違いなどの説明があった。また2025年度から改正される年末年始特別勤務手当

の説明や、病院の所在地である多治見市の地域手当の動向などについて学んだ。独立行政法人である県立多治見病院は、賃金労働条件を県人勤に準拠することとしている。2025県人

勤において多治見市勤務の県職員の地域手当が3%から1%に引き下げられることから、多治見病院にも影響することが懸念される。同じく県病院労組を構成する総合医療センター支部も同様の状況であることから、今後も県本部と連携し地域手当を始めとする賃金労働条件の改善に取り組んでいく。

自治労推薦候補・各務原市議会議員選挙

水野たけお

(現職3期・無所属)

投票予定日
2月23日(日)

「国際連帯救援カンパ」にご協力ください
誰もが笑顔で暮らせる世界のために

500円まで

2025年度

岐阜県地方自治研究センター主催
「財政分析セミナー」のお知らせ

自治体の財政について学ぶセミナーが開催されます。申し込み・アクセス方法は組合事務所・役員まで。

日時／2025年3月3日(月)
18:00～20:00(予定)

開催方法／ウェブ

講演／「新年度の国・地方財政見通しと財政分析の重要性について」
・税制改革について
・人件費に着目した財政分析など

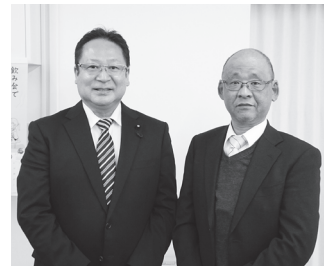
講師／飛田 博史さん
(地方自治総合研究所副所長)

申し込み／2月25日(火)

問合せ先／所属する組合事務所・役員または自治研センター事務所(info@gifu-jichiken.jp)までご連絡ください。

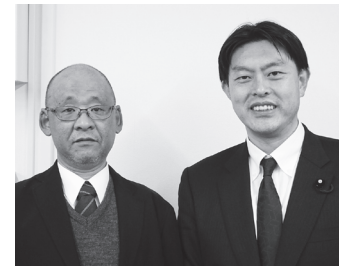


▲今井雅人衆議院議員と



▲眞野哲衆議院議員と

昨年実施された衆議院議員選挙で、県内に私たちと共に活動してくれる国会議員が3人になりました。選挙区ごとの単組は積極的な交流を図ることができるよう、県本部として最善を尽くします。



▲仙田晃宏衆議院議員と

政策実現にむけ 衆議院議員との連携を強化

岸まきこ

とともに

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

参議院議員(自治労組織内議員)

自治労の政策要求を実現しよう!

- 地域密着の公共サービスを
- 格差のない持続可能な社会を
- 全世代対応の社会保障制度を
- ジェンダー平等社会の実現を
- 平和な国際社会の実現を
- 地域分散型エネルギー社会を

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」参議院議員の擁立を決定しました。

公式HPや各種SNSで、日々の活動を発信中!

〈再任用予定者の方へ〉

退職金は今すぐ随時払を!

～随時払のメリット～

随時払は
早いほどお得に!

メリット 1

随時払は、長期共済、税制適格年金の月払(半年払)を払込中の方が利用できます。

年金開始までの期間が5年以下なら、1ヵ月あたりの上限はありません。

※随時払を取り扱っていない組合もあります。

随時払	1ヵ月あたりの上限額 通算限度額 (長期共済と税制適格年金の随時払合計)	長期共済	税制適格年金		長期共済	税制適格年金	
		年金開始まで6年以上			年金開始まで5年以下		
		200万円			なし		
		1,500万円			なし		

※払い込める掛金の累計は、長期共済と税制適格年金のすべての払込方法を合算して6,000万円が限度となります。

メリット 2

随時払で、積立金額がアップします。

随時払は、積立期間が1年以上あれば積立金が払込掛金を上回るため、月払・半年払よりも効率的に積立金を増やすことができます。

こんなに
お得です

退職金1,000万円を随時払した場合

項目	1,000万円	1,010万円	1,020万円	1,030万円
随時払 掛金	1,000万円	1,010万円	1,020万円	1,030万円
随時払 掛金	1,000万円	1,010万円	1,020万円	1,030万円

わずか4年で+30万円!

随時払 掛金 1,000万円

払い込み 2年後 3年後 4年後

4年間で増えた+a分(30万円)は
団体生命共済の掛金相当分に!

団体生命共済 満61～65歳の掛金(4年間)
死亡600万円・病氣入院3,000万の場合
男性(月払掛金) 7,682円×12ヵ月×4年間=368,736円
女性(月払掛金) 4,710円×12ヵ月×4年間=226,080円

メリット 3

年金給付への移行で、さらに年金額が大きくなります。

積立金は退職時に解約返戻金として受け取ることもできます。しかし、積立金を移行掛金として年金給付へ移行すると、年金受取期間中も移行掛金が運用されるため、在職中に積み立てた掛金累計に対して、年金受取額の総額がさらに大きくなります(移行する場合は、移行日前日まで長期共済・税制適格年金の加入が必要です)。

イメージ

①

解約返戻金として受け取る

+aで
お得!

+a分

掛金累計

積立金

=

解約返戻金

②

年金として受け取る

+aで
お得!

+a分

掛金累計

積立金

=

移行掛金

<

年金給付

+aで
さらにお得!

+a分

メリット 4

退職金は今すぐ随時払を!

随時払は早く積み増すほどお得になります。また、移行時に積立金が移行掛金に満たない場合は、不足掛金を払い込む必要があります。退職金を随時払で積み増して積立金が多くなれば、退職後の年金給付の受取年金額や受取期間の選択肢も広がります。退職金は今すぐ随時払を活用しましょう!

さっそく
組合へGO!

退職金は随時払で! チラシ 第1版 2025.01 DO 第1刷 2025.01 DO 50,000

こくみん共済
5124V129

～特別募集のご案内～

その特権、あなたは捨てていませんか

じちろう共済は組合員だけが加入できる共済です

効力開始日：2025年5月1日

募集期間 2025年2月3日～2025年3月21日

＜共済期間は毎年4/1～3/31の1年更新となりますが、初年度のみ5/1～翌年3/31となります＞

団体生命共済

団体定期生命共済・個人賠償責任共済

充実した保障であなたをサポート！

生命・医療保障の柱としてまずは団体生命共済から

＜経過措置2年目：2024年4月1日～2025年3月31日の掛金＞

この保障でこの掛金 F型 + 03コース の場合

月額（保険料）

男性：35歳：1,978円	45歳：2,482円	55歳：3,676円
女性：35歳：2,114円	45歳：2,644円	55歳：3,196円

死亡

600万円

（不慮の事故による死亡は **1,200万円**）

＜F型以外も選択できます。（死亡保障は600万円～5,000万円）＞

**入院
日額**

3,000円

けがも病気も日帰り入院から！

＜03コース以外も選択できます。（入院日額は3,000円～15,000円）＞

**通院
日額**

1,500円

- ・病気で連続5日以上入院後の通院に対して
- ・けがで1日でも入院した場合の前後の通院に対して
- ・入院がなくても、けがでの5日以上の上通院に対して

手術

12万円 or 6万円 or 3万円

・入院の有無を問わず、所定の154種類の手術に対していずれかの金額をお支払い

先進医療

1回の限度額 **1,000万円**

・技術料相当額をお支払い

がん診断

60万円

上皮内がんの場合▶

6万円

このほかにさまざまな保障をさせていただきます

- ◎臓器提供のための手術…10万円
- ◎不慮の事故による身体障がい状態…600万円～24万円
- ◎診断書料補助……………5,000円
- ◎傷病障がい/肝硬変または慢性肝炎と診断……………50万円

2023年4月の制度改定により組合員本人型の掛金に3年間の基本契約・経過措置が適用されているため、1年ごとに掛金が変動となります。
2026年4月（制度改定4年目）で本則掛金となります。

病気やけがをして健康告知に該当すると、加入できない場合があります。

「もしも」が起こる前に、健康なうちに加入しましょう。

掛金試算ができます！

団体生命共済 掛金試算サイト

https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/jichiro/kyousai/dantaiseimei_login.html (ID:tasukeyai パスワード:jichiro)

経団連の2025年春季労使交渉・協議における基本スタンスや労働分野に関する考え方を示す「経営労働政策特別委員会報告」（経営委報告）が1月21日に公表された。報告書では、「付加価値の最大化」と「人への投資」強化を中心に、分厚い中間層の形成、デフレからの完全脱却、成長と分配の好循環、ウェルビーイングな社会の実現を目指すとしている▼生産性の改善と多様な人材活躍推進のために「働き方改革フェーズⅡ」の追求、DEI（多様性、公正性、包摂性）のさらなる推進、「自主型雇用システム」の